



まちづくり

県西地域などでの地域活性化や外国籍県民への支援、NPOの自立的活動の促進、環境問題への対応、交通ネットワークの充実などに取り組むことで、地域の個性が輝き、多文化や自然環境、都市基盤など人を引きつける魅力にあふれた神奈川を実現します。

18 地域活性化

地域資源を生かした地域活性化をめざして

- A 県西地域活性化プロジェクトの推進
- B 三浦半島の資源を生かした地域の活性化
- C 地域のマグネットとなる魅力づくり

19 多文化共生

多文化共生の地域社会づくり

- A 外国籍県民がくらしやすい環境づくり
- B 留学生支援の充実
- C 多文化理解のさらなる推進

20 協働連携

NPOの自立的活動の促進と協働型社会の実現をめざして

- A NPOの自立的活動に向けた支援
- B NPOなど多様な主体による協働の推進
- C 県と企業、大学などとの連携の推進

21 自然

多様な生物を育む自然環境の保全と活用

- A 森林の保全・再生
- B 里地里山の保全・活用
- C 都市のみどりの保全・活用
- D 人と動物との共生

22 環境

持続可能な社会の実現

- A 環境に配慮する活動への参画推進
- B 資源循環・適正処理の推進
- C 大気環境保全の推進

23 都市基盤

活力と魅力あふれるまちづくりと交通ネットワークの充実

- A 交流と連携を支える道路網の整備と活用
- B 交流と連携を支える鉄道網の整備
- C 国際競争力の強化に向けた空港施策の充実
- D 持続可能な魅力あるまちづくりの推進



大磯市(おおいそいち)

神奈川は、首都圏に位置し、都市化が進んでいる地域でありながら、一方で、森・川・海が連なる豊かな自然環境にも恵まれており、それぞれの地域に魅力ある資源やライフスタイルがあります。

また、商店街のにぎわいは地域に多くの人を引きつけるマグネットになりますので、その魅力を増すことで、地域全体の活気を取り戻すことができます。そこで、こうした地域の特性や資源を活用したプロジェクトを推進するとともに、商店街をはじめ、地域の魅力に磨きをかけて、人を呼び込み、引きつけるマグネットをつくり、地域活性化を図ります。

プロジェクトのねらい

- ▶ 地域の特性や資源を活用したプロジェクトの推進
- ▶ 人を呼び込み、引きつけるマグネットづくり



具体的な取組み

A 県西地域活性化プロジェクトの推進

- 「自然」「食」「癒し」などの多彩な地域資源を持つ県西地域を、「未病の戦略的エリア」と位置づけ、「未病を治す」をキーワードに地域の新たな活力を生み出すため、県西地域活性化プロジェクトを推進します。

主な取組内容	2015	2016	2017	2018
「未病いやしの里」づくりの推進 実施主体 県、市町、民間	拠点整備構想募集、計画策定	拠点整備の推進		
		「未病」の普及啓発		
県西地域の地域資源を生かした「未病を治す」取組みの推進 実施主体 県、市町、民間		「未病を治す」地域資源の魅力増加		
「未病でつなぐ地域の活性化」の取組みの推進 実施主体 県、市町、民間			「未病」をテーマとした産業の振興	

B 三浦半島の資源を生かした地域の活性化

- 変化に富んだ海岸線や豊富な歴史的文化的遺産、農水産業など、三浦半島地域の潜在的な資源の魅力を磨き上げ、三浦半島全体の新たな活力を生み出します。
- 三浦半島地域の魅力を発信するため、神奈川の海の魅力を国内外にPRする「かながわシープロジェクト」と連動した取組みを行います。

主な取組内容	2015	2016	2017	2018
三浦半島の資源を生かした地域活性化の取組み 実施主体 県、市町、民間		三浦半島の地域資源の魅力増加		
「かながわシープロジェクト」と連動した取組み 実施主体 県、市町、民間			「かながわシープロジェクト」と連動した取組みの推進	

C 地域のマグネットとなる魅力づくり

- 県内各地域の魅力を生かした個性的なライフスタイルを発信し、県内への移住を促進します。
- 地域全体のマグネット力を高めるため、国際的観光地を創出する「新たな観光の核づくり」と連動した取組みを行います。
- 神奈川最大の水がめである宮ヶ瀬湖をはじめ、神奈川の豊かな水を育み守ってきた水源地域の活性化を図るため、ダム湖と周囲の自然環境を生かしたイベントの実施や魅力の発信などに取り組みます。
- 県内外から人を引きつける魅力ある商店街を創出するため、地域のブランド育成に取り組む商店街の掘り起こしや、商業人材の育成などに取り組むことで、商店街を中心とした地域商業の活性化を図るとともに、商店街をめぐる観光ツアーを展開します。

主な取組内容	2015	2016	2017	2018
地域の魅力を生かした移住の促進 実施主体 県、市町村、民間	映像作成など	移住促進のためのプロモーション		
「新たな観光の核づくり」と連動した取組み 実施主体 県、市町、民間		「新たな観光の核づくり」と連動した取組みの推進		
豊かな水を育む水源地域の活性化 実施主体 県、市町村、民間		ダム湖と周囲の自然環境を生かした活性化事業の推進		
地域の商店街の活性化と商店街観光ツアーの展開 実施主体 県、市町村、民間			商店街への支援・商店街観光ツアーの展開	

県内には多くの外国籍県民の方々が暮らし、その国籍も多岐にわたっています。

そうした中で、外国籍県民が抱える課題は教育や子育て、

高齢化など多様化、複雑化しています。また、県内の大学等には

多くの留学生が在籍しており、就職・生活・交流など留学生の

様々なニーズへの対応も求められています。

さらに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の

オリンピック・セーリング競技の会場が県内に決定したことを受け、

県民の国際理解を推進する必要があります。そこで、外国籍県民が

くらしやすい環境づくり、神奈川でくらし学ぶ留学生への支援、地域における

多文化理解の推進などに取り組み、国籍に関わらず、お互いが理解し合い、

県民一人ひとりが心豊かに生きがいを持って暮らすことができる

多文化共生の地域社会づくりを進めます。



プロジェクトのねらい

▶ 多文化共生社会の実現

▶ 留学生にとって魅力ある環境づくり

民 産 教

具体的な取組み

A 外国籍県民がくらしやすい環境づくり

- 県内で学び働く外国籍県民が地域で円滑なコミュニケーションを図ることを支援するため、国際言語文化アカデミアにおいて、外国籍県民を対象とした日本語講座やボランティアを対象とした語学講座などを実施します。
- 県立高校に通学する日本語を母語としない外国籍の生徒などが充実した学校生活を送れるよう、通訳や学校生活を支援するサポーターを派遣する取組みを進めます。
- 外国籍県民と共に生きる地域社会づくりのため、外国籍県民自身が外国籍県民に係る施策を協議する場を設けます。また、外国籍県民が安心して適切な医療を受けられるよう、関係機関と連携し、医療通訳を養成・派遣するとともに多言語による行政情報の提供を行います。
- 災害時における外国籍県民支援の充実を図るため、市町村や関係機関とも連携して多言語による情報発信などの取組みを進めます。

主な取組内容	2015	2016	2017	2018
外国籍県民のコミュニケーションを支援するための日本語講座などの実施 実施主体 県		日本語講座などの実施		
日本語を母語としない外国籍生徒などに対する学習や学校生活の支援 実施主体 県		県立高校などへの通訳や支援サポーターの派遣		
多文化共生の地域社会づくりに向けた外国籍県民のニーズを把握 実施主体 県、民間		外国籍県民かながわ会議の運営		
災害時における外国籍県民支援の推進 実施主体 県、市町村、民間		市町村などと連携した支援の充実		

B 留学生支援の充実

- 神奈川でくらし、学ぶ留学生のニーズに応じて、就職・生活・交流など幅広い支援を行うため、留学生支援拠点「かなファンステーション」を活用し、大学やNPO、企業などと連携した取組みや、情報発信などを行います。
- 県内での就職を希望する留学生を支援するため、企業や大学などと連携して、就職支援セミナーの開催や、留学生と県内企業とを結ぶマッチング機会の提供などに取り組みます。

主な取組内容	2015	2016	2017	2018
留学生支援拠点「かなファンステーション」の運営 実施主体 県、民間		かなファンステーションの運営		
企業や大学と連携し留学生の就職をきめ細かく支援 実施主体 県、民間		セミナーや県内企業とのマッチング		

C 多文化理解のさらなる推進

- 地域における多文化理解を推進するため、地球市民かながわプラザを中心とした学習機会や情報の提供を行うとともに、外国籍県民やNPOなどと連携した多文化共生イベント「あーすフェスタかながわ」の開催や、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のオリンピック・セーリング競技の県内開催に向け、地域のコミュニケーション力を向上する施策を展開します。
- 子どもたちの国際理解が深められるよう、留学生による学校などでの国際理解講座の実施に取り組む関係機関への支援を行うとともに、コミュニケーション能力の向上を図るため、国際言語文化アカデミアにおいて教員に対する専門研修を実施します。

主な取組内容	2015	2016	2017	2018
地球市民かながわプラザを中心とした多文化理解の推進 実施主体 県、民間		多文化理解の学習機会や情報の提供、あーすフェスタの開催		
留学生との交流による子どもたちの国際理解の機会提供 実施主体 県、市町村、民間		学校などでの国際理解講座などへの支援		



NPOと企業、大学の交流会

県内では多くのNPOが活動していますが、NPOは市民に支えられてより自立的かつ安定的に活動していくことが重要になっています。また、地域課題が複雑・多様化する中で多様な主体が強みを生かし、協働・連携することで効果的に課題解決を図っていく必要があります。そこで、NPOの認知度向上や多様な主体による交流の場づくりなどにより、NPOが自立的に活動できるよう支援するとともに、地域課題の解決に向けて、NPO、企業、大学、行政の協働・連携を進めることで、多様な主体による協働型社会の実現をめざします。

プロジェクトのねらい

- ▶ NPOの自立的活動の促進
- ▶ NPO・企業・大学・行政など多様な主体による協働型社会の実現

民 政 全

具体的な取組み

A NPOの自立的活動に向けた支援

- NPOが寄附や信頼などを得て、自立的・安定的に活動していくために、NPOの認知度向上を図るとともに、寄附者が税制上の優遇を受けられる「県指定NPO法人」や「認定NPO法人」の取得促進と、取得後の支援に取り組みます。また、NPOの活動基盤の強化を図るため、NPOの成長支援や人材育成に取り組みます。

主な取組内容	2015	2016	2017	2018
県指定NPO法人や認定NPO法人の取得促進と取得後の支援 実施主体 県	法人の指定・認定、指定・認定法人のネットワークづくり			
NPOの活動基盤を強化するための成長支援や人材の育成 実施主体 県、民間	成長支援、研修・講座の実施			

B NPOなど多様な主体による協働の推進

- 多様な主体が強みを生かして協働していくために、NPOを中心に企業や大学、行政など多様な主体の協働につながる、交流の場づくりを進めるとともに、協働の成功事例を広く発信していきます。また、各主体をつなぎ協働を円滑に推進していくため、コーディネート力のある中間支援組織(NPOを支援するNPOなど)の育成に取り組みます。

主な取組内容	2015	2016	2017	2018
NPOを中心とする多様な主体による協働の促進 実施主体 県、民間	マッチングの場の提供、スタディツアーの実施			
中間支援組織(NPOを支援するNPOなど)の育成 実施主体 県	事業実施を通じた育成			

C 県と企業、大学などとの連携の推進

- 複雑・多様化する地域課題を解決するために、県は、企業、大学、NPOなど多様な主体と積極的に連携し、互いの強みを生かした協働を推進します。
- 県民、NPO、企業など各主体が、自らデータを活用して地域課題の解決などに取り組むために、国・県内市町村と連携して行政が持つ情報を使いやすいデータ形式で提供し、透明でオープンな行政「オープンガバメント」の実現をめざします。

主な取組内容	2015	2016	2017	2018
県と多様な主体との連携 実施主体 県、民間	連携による取組みの推進			
オープンガバメントの促進 実施主体 県	事業実施を通じた展開			



まちづくり

プロジェクト
21

自然

～多様な生物を育む自然環境の保全と活用～



森林整備により回復した下層植生(秦野市寺山)

森林地域ではニホンジカの過密化などにより植生が衰退し、里地里山や都市のみどりでは手入れが行き届かず、それぞれが持つ機能が十分に発揮されないなどの課題があります。

そこで、県民参加や地域・団体などとの連携により、森林、里地里山、都市のみどりの保全や再生に取り組み水源かん養、生物多様性の確保、生活にうるおいややすらぎをもたらすことなど自然の有する多面的機能の維持・回復を図ります。

また、人と動物が共生できる環境づくりを進めます。

プロジェクトのねらい

- ▶ 豊かな水と多様な生物を育む森林づくり
- ▶ 豊かな恵みとうるおいのある里地里山・都市のみどりづくり
- ▶ 人と動物が共生できる環境づくり

環 政 保 土

具体的な取組み

A 森林の保全・再生

- 良質な水を将来にわたり安定的に確保していくため、水源かん養などの公益的機能の高い活力ある森林づくりを進めるとともに、県民参加による啓発活動を推進するなど、水源環境の保全・再生に取り組みます。
- 丹沢大山の自然環境の劣化に対応するため、土壌流出対策、植生保護柵の設置、ニホンジカの保護管理などの自然再生施策に取り組みます。

主な取組内容	2015	2016	2017	2018
豊かな水を育む水源環境の保全・再生 実施主体 県、市町村、民間	保全・再生の推進			
丹沢大山の自然再生施策の推進 実施主体 県、市町村、民間	自然再生施策の推進			

B 里地里山の保全・活用

- 多様な生物を育み、良好な景観やレクリエーションの場を提供するなど里地里山の有する多面的機能を発揮し、次世代への継承を図るため、保全が必要な地域の選定、保全活動を行う団体への支援及び保全活動への県民参加を促す普及啓発に取り組みます。

主な取組内容	2015	2016	2017	2018
里地里山の保全活動への支援や普及啓発の実施 実施主体 県、市町村、民間	保全活動団体への支援など			

C 都市のみどりの保全・活用

- 都市の貴重な緑地を次世代へ継承するため、残された緑地を保全し、買入れた緑地の適切な維持管理に取り組みるとともに、小網代の森の環境学習の場としての活用を促進します。
- 都市のみどりを保全・活用するため、県立都市公園の整備や三浦半島国営公園の誘致などに取り組みます。

主な取組内容	2015	2016	2017	2018
都市の緑地の保全・維持管理及び小網代の森の環境学習の場としての活用 実施主体 県、市町村、民間	緑地の保全と適切な維持管理及び小網代の森の活用 小網代の森のトイレ整備			
県立都市公園の整備推進や国営公園の誘致 実施主体 県、市町村、民間	県立都市公園の整備など			

D 人と動物との共生

- 野生鳥獣による生態系への影響や農林業被害などの軽減を図るため、地域が主体となって行う捕獲などの対策への支援及び被害対策を担う人材の確保及び育成などに取り組みます。
- ペットの終生飼養の推進と犬・猫へのマイクロチップ装着、ドッグウォーキングなどを普及し、犬・猫殺処分ゼロの継続と、動物保護センターの再整備に取り組みます。

主な取組内容	2015	2016	2017	2018
野生鳥獣の保護管理の推進 実施主体 県、市町村、民間	野生鳥獣の保護管理、人材の確保など			
ペットの終生飼養の推進、マイクロチップの普及、動物保護センターの再整備 実施主体 県、民間	終生飼養の推進、マイクロチップの普及など 動物保護センターの再整備			



まちづくり

プロジェクト
22

環境

～持続可能な社会の実現～

地球温暖化、
限られた資源の有効活用、
PM2.5といった新たな問題に
取り組むことが求められていますが、
これらの地球規模の環境問題を
解決するためには、地域からの
取り組みが重要です。
そこで、環境学習・教育を進め
環境に配慮する活動への参画、
資源循環・適正処理及び
大気環境保全の推進などに取り組み
環境負荷の少ない持続可能な
社会の実現をめざします。



プロジェクトのねらい

- ▶ 環境に配慮する活動の推進
- ▶ 資源が循環するしくみの拡大
- ▶ 安心してらせる大気環境の保全

環 産 土 教

具体的な取り組み

A 環境に配慮する活動への参画推進

- 地球温暖化問題をはじめとした環境問題への理解を深め、環境に配慮した行動を促すため、環境学習・教育や家庭への普及啓発などに取り組みます。
- 地球温暖化を防止するため、事業者や建築主の活動に起因する温室効果ガスの排出量の削減に取り組みます。
- 低炭素社会の実現に資するため、再生可能エネルギー等の導入加速化を図ります。

主な取組内容	2015	2016	2017	2018
多様な主体と連携した環境学習・教育と家庭への普及啓発 実施主体 県	環境学習・教育の推進など 学習教材の作成			
温暖化対策計画書制度の運用などによる事業者・建築主の取組みの促進 実施主体 県	計画書制度の運用など			
再生可能エネルギー等の導入加速化 実施主体 県、市町村、民間	再生可能エネルギーの導入支援や普及啓発などの実施			

B 資源循環・適正処理の推進

- 廃棄物の発生抑制や資源の循環的利用を推進するため、県民、事業者及び市町村などと連携・協力し、3R(発生抑制・再使用・再生利用)の推進に取り組みます。
- PCB廃棄物の処理、海岸漂着物対策や県立産業廃棄物最終処分場の運営など廃棄物の適正処理の推進に取り組みます。

主な取組内容	2015	2016	2017	2018
3R(発生抑制・再使用・再生利用)の推進 実施主体 県、市町村、民間	3Rの推進			
PCB廃棄物の処理及び海岸漂着物対策の推進、県立産業廃棄物最終処分場の運営など 実施主体 県、市町村、民間	適正処理の推進			

C 大気環境保全の推進

- PM2.5濃度の低減に向け、旧式ディーゼル車の運行規制などの既存の対策に加え、新たな対策としてガソリンペーパー対策の推進に取り組みます。
- PM2.5の濃度が高くなる場合に備えた高濃度予報による注意喚起や、県内各地の測定結果の提供など、PM2.5に関する情報発信に取り組みます。

主な取組内容	2015	2016	2017	2018
ガソリンペーパー対策など PM2.5の低減に向けた取組みの推進 実施主体 県、九都県市	低減に向けた取組みの推進			
高濃度予報による注意喚起などの実施 実施主体 県、市町村	高濃度予報による注意喚起・情報発信			



建設中の新東名高速道路、リニア中央新幹線、小杉町3丁目中央地区市街地再開発事業

3つの特区の指定や、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催決定、セーリング競技の江の島開催決定などを踏まえ、道路や鉄道など交通ネットワークの充実や既存インフラの活用が求められています。

一方で、老朽化するインフラへの対策や都市機能の集約化が求められています。

そこで、交流と連携を支える道路網の整備と活用、交流と連携を支える鉄道網の整備、国際競争力の強化に向けた空港施策の充実、持続可能な魅力あるまちづくりの推進に取り組み、活力と魅力ある県土の形成を図ります。

プロジェクトのねらい

- ▶ 活力と魅力ある県土の形成
- ▶ 交流と連携を支える交通ネットワークの充実

土 政 保

具体的な取組み

A 交流と連携を支える道路網の整備と活用

○地域活性化や県民生活の利便性の向上と安全・安心の確保のため、幹線道路ネットワークの整備を図るとともに、計画的な点検、予防的な修繕などによる道路施設の老朽化対策や、スマートインターチェンジ・道の駅の整備促進など、道路を永く、有効に活用する取組みを推進します。

主な取組内容	2015	2016	2017	2018
自動車専用道路やインターチェンジ接続道路などの幹線道路の整備 実施主体 国、県、市町村、民間				
道路を永く、有効に活用する取組みの推進 実施主体 国、県、市町村、民間				

B 交流と連携を支える鉄道網の整備

○全国との交流連携を促進するため、リニア中央新幹線県内駅などによる南北ゲートの形成を図るとともに、在来線を活用した鉄道ネットワークの充実強化を図ります。

主な取組内容	2015	2016	2017	2018
リニア中央新幹線の建設促進、東海道新幹線新駅の設置、JR相模線複線化、神奈川東部方面線整備などの促進 実施主体 国、県、市町村、民間				

C 国際競争力の強化に向けた空港施策の充実

○我が国の国際競争力を強化するため、羽田空港の機能の向上を図るとともに、国際化を生かしたまちづくりなどに取り組みます。

主な取組内容	2015	2016	2017	2018
羽田空港の機能強化の促進、羽田空港の国際化を生かしたまちづくりの推進、空港周辺のアクセスの整備促進 実施主体 国、県、市、民間				

D 持続可能な魅力あるまちづくりの推進

○都市機能の集約化やツインシティなど地域の新たな拠点づくりを進めるとともに、景観や歴史文化などの地域の特色を生かしたまちづくりや空き家対策に取り組み、持続可能な魅力あるまちづくりを推進します。

主な取組内容	2015	2016	2017	2018
都市機能の集約化や地域の新たな拠点づくりの推進 実施主体 県、市町村、民間				
地域の特色を生かしたまちづくりや空き家対策の推進 実施主体 県、市町村、民間				